

## 平成27年度いわき支部総会並びに第28回学会開催される

平成27年度いわき支部総会並びに第28回学会が、4月11日(土)いわき市総合福祉センターにおいて総数165名(委任状84名)の参加を得て開催されました。

はじめに森菊夫支部長の挨拶があり、続いて山寺幸雄県技師会会長の来賓祝辞の後、定期総会へと移りました。総会では各報告、各議案および新役員はすべて承認されました。



山寺会長は挨拶の中、「臨床検査技師の検体採取等の業務拡大に伴い嬉しい反面、我々臨床検査技師が試される時期に来ているのではないか？」などと話し、また、「県民健康調査」に関わる甲状腺超音波検査要員としての会員技師の協力を訴え、検査体制への支援を行い福島県の医療へ貢献していきましょうと述べました。



## 第28回学会テーマ 「検査説明ができる臨床検査技師」

### 講演①

### 「検査説明ができる臨床検査技師育成講習会について」

講師：一般社団法人福島県臨床検査技師会副会長  
竹田総合病院CM部臨床検査科課長 齋藤市弘

講演は、①各都道府県単位で「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を開催するに至った経緯 ②福臨技主催「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」について ③竹田総合病院における「検査説明・相談業務」の取り組みについて、などの内容であり受講済みの会員や、これから受講予定の会員などが熱心に聴講していました。



## 講演②

### 「臨床検査室におけるコミュニケーションについて考える」 ～コミュニケーションの仕組み作りとその能力～

講師：株式会社CGI 清 康一

新卒を採用している企業に対し、「採用者にどんな能力を求めるか」と尋ねたアンケート結果を見てみると、過去10年間以上「コミュニケーション能力」がNo.1に上げられているそうです。

コミュニケーションを成立させる重要な要因として、相手が聞きたい・知りたいと思っている相手の「期待」を知り、その期待に対応することが上げられ、その期待に対応せずにコミュニケーションを図ると、人と人との間に高い緊張感が生まれやすくなり、人に向けられる緊張が高いまましていると人は自己防衛的になり、業務への動機が弱まるため、その結果として仕事の生産性の低下や業務内容の質にも影響してしまうといわれているそうです。

講演は、業務の「共通言語化」と「仕事の要求事項内容の相互理解」の重要性についてであり、さらに私たちが関わる人の期待には自分とは異なったタイプの人、あるいは似た人がいることを理解し、その人たちと効率的に仕事を進めるにはどのように自分自身に対応したら良いか等を学びました。



## 平成27年度福島県臨床検査技師会いわき支部役員紹介

役職名	氏名	施設名
支部参与	山崎 美一	自宅
支部長	森 菊夫	いわき市立総合磐城共立病院
副支部長	平山 善雄	微研東北中央研究所
副支部長	馬籠 英之	常磐病院
事務局長	野木 典久	かしま病院
副事務局長	佐藤 聡子	かしま病院
学術部長	塚本 厚	松村総合病院
副学術部長	吉田 明身	松村総合病院
会計部長	松本 英明	いわき市立総合磐城共立病院
幹事	荒明 弘光	福島県保健衛生協会いわき地区センター
幹事	原田 弘美	いわき市保健所
幹事	猪狩 忍	福島県保健衛生協会いわき地区センター
幹事	菊池 重寿	微研東北中央研究所
幹事	阿部 恵美子	福島労災病院
幹事	柳内 智哉	いわき市立総合磐城共立病院
幹事	青天目 都子	呉羽総合病院
会計監査	馬場 弘美	呉羽総合病院
会計監査	甘利 節雄	福島労災病院

※いわき支部役員解任（ ）は任期

下山田 浩美(2期) 呉羽総合病院

大変お疲れ様でした！